阿弥陀さまからのお手紙

『みほとけがともに』

北嶋文雄（筑前町　光蓮寺）

数年前、ある中学校で相談員をしていました。内容は、生徒の悩みごとや日常の何気ない話などに、耳を傾けるというものでした。

その学校に、Tくんという男の子がいました。中学二年生の彼は、ほとんど学校へ来ません。たまに来ては保健室で過ごし、お昼になったら帰っていました。なぜたまにしか学校へ来ないのか、なぜ教室に入らないのか、そしてなぜお昼になると帰ってしまうのか。彼と接しているうちに、その理由がわかってきました。実は、彼は大勢の中にいるとお腹が痛くなり、トイレに行きたくなるのです。だから、教室に入ることも給食を食べることもできなかったのです。そんな状態で学校生活を送ることがつらかったのでしょう。あまり学校へ来なくなっていました。

そのことを知った私は、「教室に行かなくていいから、相談室においで」と、Tくんを誘いました。初めはたまにしか来ませんでしたが、しばらくするとほとんど毎日、相談室に登校して来るようになりました。その間、担任や保健の先生といろいろ働きかけてみましたが、結局、教室に入ることができないまま卒業となってしまました。

高校生になった彼が学校へ行っているのか心配でした。たまに彼を訪ねたり電話をしたりしました。「学校は？」と聞くと、「全然行ってない」という返事がよく返ってきました。彼のことが気になりました。私以上に、何よりも本人とご両親が気にしておられたに違いありません。そのうち、心療内科へ通院するようになりました。

そんなある日、彼から電話がかかってきました。（Tくん）「先生、話したいことがあります」（私）「どうしたと？」（Tくん）「病気やった」（私）「どういうこと？」（Tくん）「お医者さんに、パニック障害って言われた」

このとき初めて、その名を耳にしました。「パニック障害」それは、複雑な現代社会が生み出したストレスによる病のことでした。さまざまな身体的な症状とともに、強い不安感や恐怖感におそわれる症状を「パニック発作」と言います。そして、それがくり返し起こる病を「パニック障害」と言うのです。

彼に何と言ってあげたらいいかわからず、「そう…」と残念そうにつぶやきました。ところが、彼はほっとした様子で、こう言ったのです。「先生、ぼく病気でよかった」

周りから「心の弱い人間」と見られていた彼は、どうにもならない現実に苦しんでいました。そんなとき、お医者さんに問題の原因を言い当てられたのです。心の持ち様が原因ではなかった。お医者さんは自分のことをちゃんとわかってくれている。どんなに安心したことでしょう。

それからの彼は、少しずつ高校へ行くようになり、レストランで食事も出来るようになり、アルバイトまで出来るようになりました。どんな治療をしているのか聞きました。（私）「何か、薬飲みよると？」（Tくん）「薬はもらったけど、飲んでないよ」（私）「じゃあ、なんでいろんなことが出来るようになったと？」（Tくん）「ようわからんけど、お医者さんがぼくのことをちゃんとわかってくれていると思ったら、病気と付き合えるようになった」そう応えた彼の声は弾んでいました。

心の持ち様ではどうにもならないときに、「頑張れ」と言われても、辛いばかりです。自分でも、どうしようもないのです。そんなときに、自分のことを自分以上に知り抜き、見守ってくれる人がいたら、安心できるものです。

私たちの人生は、心の持ち様ではどうにもならないほど、苦悩の涙をたくさん流さなくてはなりません。その苦悩をどもまでも見通しておられたのが、阿弥陀さまでした。そして苦悩の涙の中に、「私がいるよ」と喚びかけてくださっているのです。

※次回の秋彼岸の講師です

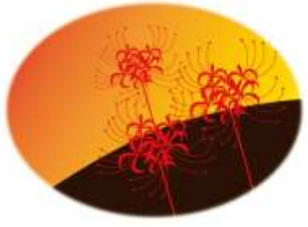
～ご案内～

～・～　秋季彼岸会　～・～

日程　9月19日(木)　昼13時30分～

講師　北嶋文雄師

どうぞお参りくださいませ



「縁・えにし」のよろこび

～親鸞聖人・報恩講法要～（2023年11月14・15日）

久々に雅楽の奏楽が入り、賑々しくお勤めしました。浄土真宗のお寺では、この法要を大切にお迎えします。

この度は、親鸞聖人さまの762回忌でした。

ご講師　内田師

～除夜の鐘・元旦会～（2023年12月31日/2024年1月1日）

能登半島地震が発生し、大きな不安の中に新年を迎えました。だからこそ、何が大切なことかを考えていきたいと思います。

参拝者には、紅白餅（法語メッセージ入り）をお配りしました。

～春季・彼岸会～（3月18日）

春風薫る中、多くのご参拝をありがとうございました。

お彼岸（お浄土）に想いを馳せ、先だった方々を偲ぶ尊き仏縁でした。

ご講師　正木師

～永代経法要～（4月17・18日）

4月のご法座といえば、この永代経法要。ご講師に松月先生をお迎えし、浄土真宗の御教えの真髄をお取次ぎいただきました。

ご講師　松月師

★・☆・★　仏教婦人会・総会/法座　★・☆・★

真教寺には、仏教婦人会という会があります。年間に2回の法座・清掃活動・初参式のお世話、コロナ前まではお斎の準備をしていただいていました。お寺の活動には欠かせない皆さまであります。

役員・各地区役員が居られまして、2年の任期で務めていただいています。今年は2年の任期が終わり、総会をもって交代となります。

旧役員の皆さま、ありがとうございました。そして、新役員の皆さま、よろしくお願いします。

ご講師　笠師